

**INR-3000/3500システム
メンテナンス(iNVRMaintenance)
操作説明書**

2020年9月

池上通信機株式會社

改訂履歴

Rev	日付	内 容
00	2014/10/23	初版
01	2016/01/13	IPD-SP200/PT200 系ネットワークカメラ対応 ポストアラーム記録時間の最大値を 60 秒に変更 Ver1. 1. 0. 0 仕様変更
02	2016/08/30	自動バックアップ設定機能追加 Ver1. 2. 0. 0 仕様変更
03	2019/12/11	INR-3500 対応記述追加 IPD-XX230/IPD-XX210/PTC-113 カメラ追加
04	2020/05/20	INR-3500 に関する記述を追加
05	2020/09/10	IPD-XX250 カメラ追加 PTC-113 解像度追加 NVR カメラ情報登録画面でパラメータの一部を削除 JPEG2000 の解像度設定から「1/4」「1/8」を削除

目 次

1	はじめに.....	1
2	概 要.....	1
3	機能詳細.....	1
3. 1	メンテナンスメニューの起動.....	1
3. 2	システムNVR登録.....	3
3. 3	NVRカメラ情報登録.....	4
3. 4	RTSPサーバ登録.....	9
3. 5	プリ/ポスト アラーム記録時間登録.....	10
3. 6	センサー入力関連設定.....	11
3. 7	センサー入力装置設定.....	12
3. 8	センサー入力詳細設定.....	13
3. 9	自動バックアップ設定.....	15
3. 10	データ初期化.....	17
3. 11	NVR 再起動/シャットダウン.....	18
3. 12	エリア情報登録.....	19
3. 13	Viewカメラ情報登録.....	20

1 はじめに

本書は、INR-3000/3500使ったシステムのメンテナンス機能の操作説明書です。

2 概要

本ソフトウェアは、INR-3000/3500システムで利用するメンテナンス機能であり、INR-3000/3500以外のPC (ViewerPC等) にインストールして使用します。このメンテナンスソフトウェアの各機能は、大きく2種類に分類できます。以下にその機能の項目を示します。

- ・ INR-3000/3500本体関連設定項目
 - ・ システムNVR登録
 - ・ NVRカメラ情報登録
 - ・ RTSPサーバ登録
 - ・ プリ/ポスト アラーム記録時間登録
 - ・ センサー入力関連設定
 - ・ 自動バックアップ設定
 - ・ データ初期化
 - ・ NVR 再起動/シャットダウン
- ・ Viewer 関連設定項目
 - ・ エリア情報登録
 - ・ Viewカメラ情報登録

3 機能詳細

以下では、本メンテナンスの各機能の操作説明を行います。

3.1 メンテナンスメニューの起動

メンテナンスメニューの起動は、デスクトップ上の「iNVRMaintenance」アイコンをダブルクリックすることにより行います。



図 3.1-1 メンテナンスメニュー画面

ボ タ ン	説 明
システムNVR登録	本システム全体で使用するINR-3000/3500を登録します。 詳細は、「3.2 システムNVR登録」を参照願います。
NVRカメラ情報登録	各INR-3000/3500における記録するカメラの詳細な情報を登録します。 詳細は、「3.3 NVRカメラ情報登録」を参照願います。
RTSPサーバ登録	各INR-3000/3500におけるRTSPサーバの詳細な情報を登録します。 詳細は、「3.4 RTSPサーバ登録」を参照願います。
プリ/ポスト アラーム記録時間登録	各INR-3000/3500におけるアラーム記録する場合のプリアラーム記録時間/ポストアラーム記録時間を登録します。 詳細は、「3.5 プリ/ポスト アラーム記録時間登録」を参照願います。
センサー入力関連設定	センサー入力に関する各種設定をします 詳細は、「3.6 センサー入力関連設定」を参照願います。
自動バックアップ設定	各INR-3000/3500における自動バックアップの各種設定をします。 詳細は、「3.9 自動バックアップ設定」を参照願います。
データ初期化	各INR-3000/3500における各種データ(ログデータ、設定データ、記録データ)の初期化を行います。 詳細は、「3.10 データ初期化」を参照願います。
NVR 再起動/シャットダウン	各INR-3000/3500に対して再起動コマンドまたはシャットダウンコマンドを送ります。 詳細は、「3.11 NVR 再起動/シャットダウン」を参照願います。
エリア情報登録	表示するカメラを分類するためのエリア情報を登録します。 詳細は、「3.12 エリア情報登録」を参照願います。
Viewカメラ情報登録	表示するカメラの詳細な情報を登録します。 詳細は、「3.13 Viewカメラ情報登録」を参照願います。

3.2 システムNVR登録

本機能では、システム全体で使用するNVR(INR-3000/3500)を全て登録します。最大32台のNVRを登録できます。メインメニューの各種機能では、ここで登録したNVRに対して設定/登録/変更等を行うことになります。

メンテナンスメニュー(図 3.1-1)より「システムNVR登録」ボタンをクリックすることにより、下記画面が表示されます。

NVR番号	1	2	3	4	5	6	7	8
有効/無効	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
IPv4アドレス	192.168.1.201	192.168.1.201	192.168.1.202	192.168.1.203	192.168.1.204	192.168.1.205	192.168.1.206	192.168.1.207
IPv6アドレス								

図 3.2-1 システムNVR登録画面

ボタン/選択/入力等	説明
有効/無効 <input checked="" type="checkbox"/>	NVRの登録の有効/無効を設定します。
IPv4アドレス 192.168.1.201	NVRのIPv4アドレスを設定します。
IPv6アドレス	NVRのIPv6アドレスを設定します。
	1画面中に最大8台分の情報が表示できます。表示されていない情報を登録する場合は、このスクロールバーを使って任意の登録情報を表示できます。スクロールを行った際に、見えなくなるNVRの情報に対して変更がなされている場合は、一旦登録を促すメッセージが表示されます。
登録	各NVRの登録情報を変更した場合、その値を登録します。
キャンセル	各NVRの登録情報を変更した場合、その値をキャンセルし、元の値に戻します。
戻る	メンテナンスメニュー(図 3.1-1)に戻ります。

3.3 NVRカメラ情報登録

本機能では、「3.2 システムNVR登録」で登録したNVR(INR-3000/3500)において、記録するカメラの各種情報をNVR単位で登録します。1台のNVRに対して最大32台のカメラ情報を登録できます。

メンテナンスメニュー(図 3.1-1)より「NVRカメラ情報登録」ボタンをクリックすることにより、下記画面が表示されます。

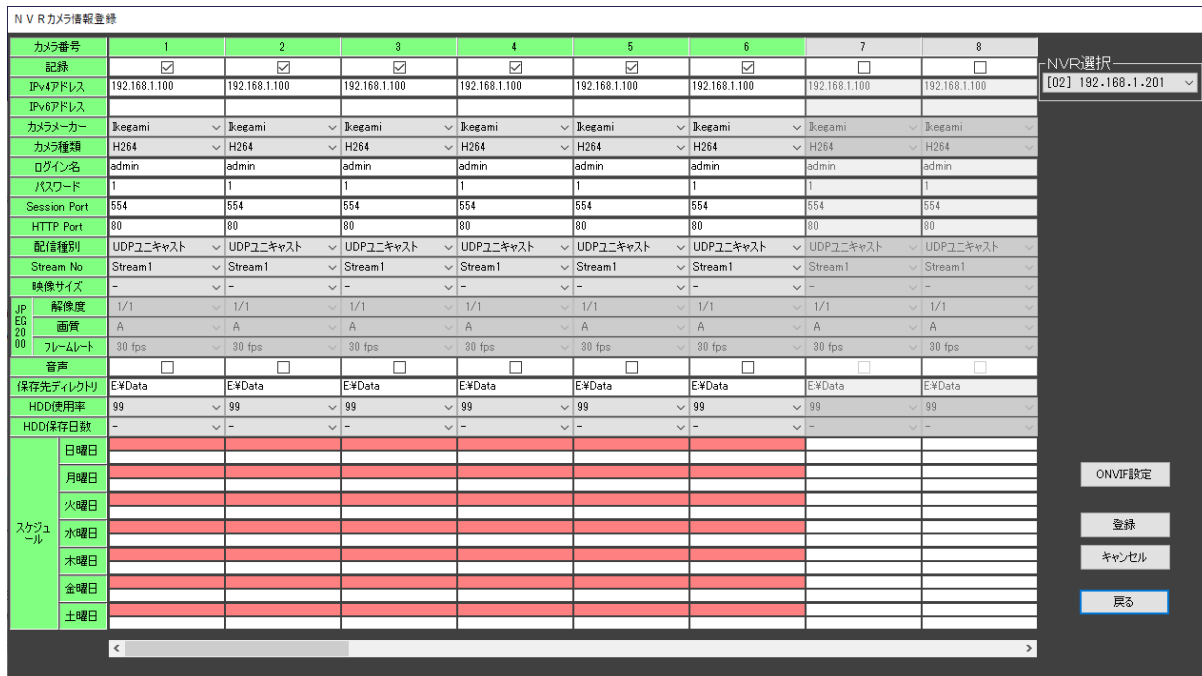


図 3.3-1 NVRカメラ情報登録画面

ボタン/選択/入力等	説明
	記録するカメラ情報を登録変更するNVRを選択します。 「3.2 システムNVR登録」で登録したNVRが選択できます。
<input type="checkbox"/> 記録	記録するカメラの有効/無効を設定します。
IPv4アドレス: 192.168.1.100	IPv4アドレスを設定します。
IPv6アドレス	IPv6アドレスを設定します。
カメラメーカー: Ikegami	カメラメーカーを選択します。
カメラ種類: H264	該当するカメラの種類を選択します 「表 3.3-1 カメラ種類別初期値及び選択範囲」参照
ログイン名: admin	カメラにログインする時のログイン名を設定します。 「表 3.3-1 カメラ種類別初期値及び選択範囲」参照
パスワード: 1	カメラにログインする時のパスワードを設定します。 「表 3.3-1 カメラ種類別初期値及び選択範囲」参照
Session Port: 554	セッションポート番号を設定します。 以下にデフォルトの値を示します。 ・「JPEG2000」以外 → 「554」 ・「JPEG2000」時 → 「80」
HTTP Port: 80	HTTPポート番号を設定します。

配信種別		UDPユニキャスト	配信種別を選択します。 「表 3.3-1 カメラ種類別初期値及び選択範囲」参照
Stream No		Stream1	ストリーム番号を選択します。 「表 3.3-1 カメラ種類別初期値及び選択範囲」参照
映像サイズ		640×480	映像サイズを選択します。カメラ側の映像サイズに合わせます。 「-」と表示されている場合設定不要です。 「表 3.3-1 カメラ種類別初期値及び選択範囲」参照
解像度		1/1	JPEG2000 専用の解像度を設定します。 「1/1」より選択できます。
画質		A	JPEG2000 専用の画質を設定します。 「A」～「E」より選択できます。
フレームレート		30fps	JPEG2000 専用のフレームレートを設定します。 「30fps」「15fps」「10fps」「5fps」「3fps」「2fps」「1fps」より選択できます。
音声		<input type="checkbox"/>	音声の有効/無効を選択します。
保存先ディレクトリ		D:\Data	記録データを保存するディレクトリを設定します。
HDD使用率		95	HDDにおける記録データの最大使用率(%)を選択します。 「5」「10」「15」「20」「25」「30」「35」「40」「45」「50」「55」「60」「65」「70」「75」「80」「85」「90」「95」「99」より選択できます。 指定のHDD使用率を超えた場合は、最古の記録データより自動的に削除されます。
HDD保存日数		-	HDDにおける記録データの最大保存日数を選択します。 「-」「1」～「100」より選択できます。 指定のHDD保存日数を超えた記録データは、自動的に削除されます。 「-」を選択した場合は、記録データの保存日数では削除処理は行いません。「HDD使用率」のみで管理します。
スケジュール	日曜日		記録スケジュールを設定します。 各曜日の上段が通常記録のスケジュールで、下段がアラーム記録のスケジュールを表します。横幅が時間軸(24 時間)を表し、記録する時間帯を赤帯で表示します。 このスケジュールの部分で、ダブルクリックすると、詳細な記録スケジュールが設定できる画面が表示されます。「図 3.3-2 記録スケジュール設定画面」を参照願います。
	月曜日		
	火曜日		
	水曜日		
	木曜日		
	金曜日		
	土曜日		



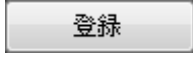


	<p>1画面中に最大9カメラ分の情報が表示できます。表示されていないカメラ情報を登録する場合は、このスクロールバーを使って任意のカメラの登録情報を表示できます。 スクロールを行った際に、見えなくなるカメラに対して情報の変更がなされている場合は、一旦登録を促すメッセージが表示されます。</p>
	<p>「ONVIF 設定」ボタンは、カメラメーカーで「ONVIF」を選択したカメラのONVIF情報を取得する処理を行います。IPアドレスの情報と、ユーザー名、パスワードが正しく設定されていないと、ONVIF情報を取得できませんので、ご注意ください。</p>
	<p>各カメラの登録情報を変更した場合、その値を登録します。</p>
	<p>各カメラの登録情報を変更した場合、その値をキャンセルし、元の値に戻します。</p>
	<p>メンテナンスメニュー(図 3.1-1)に戻ります。</p>

表 3.3-1 カメラ種類別 初期値 及び 選択範囲

カメラメーカー	カメラ種類	ログイン名	パスワード	配信種別	Stream No	映像サイズ
Ikegami	H264	admin	1	UDPユニキャスト UDPマルチキャスト RTPandRTSPoverHTTP RTP over RTSP	Stream1 Stream2 Stream3	640×480 720×480 1280×1024 1920×1080 720×576 (PAL) 1280×720 (720p)
	JPEG2000	admin	1	HTTP	JPEG2000 設定項目参照	
	IPD-BX11系	root	root	UDPユニキャスト UDPマルチキャスト RTP over RTSP	Stream1 Stream2	720×480
	IPD-BX300系	admin	admin	UDPユニキャスト UDPマルチキャスト RTPandRTSPoverHTTP RTP over RTSP	Stream1 Stream2	640×480 1920×1080 1280×720 (720p) 1280×960 640×360
	IPD-BX230系 IPD-SP230系	admin	admin	UDPユニキャスト UDPマルチキャスト RTPandRTSPoverHTTP RTP over RTSP	Stream1 Stream2 Stream3	640×480 1920×1080 1280×720 (720p) 1280×960
	IPD-SP200系 IPD-PT200系	admin	Admin	UDPユニキャスト UDPマルチキャスト RTP over RTSP	Main Stream Sub Stream	640×480 1920×1080 1280×720 (720p) 704×480
	IPD-SP210系 IPD-PT210系 IPD-BL210系 IPD-BX210系	admin	Admin123	UDPユニキャスト UDPマルチキャスト RTP over RTSP	Main Stream Sub Stream1 Sub Stream2	1920×1080 1280×1024 1280×960 1280×720 (720p) 704×480

	PTC113	admin	1234	UDP ユニキャスト UDP マルチキャスト RTP over RTSP	Stream1	1920×1080 1280×1024 1280×720 960×540 800×450 640×480 640×360 480×270 320×240 320×180
					Stream2	960×540 800×450 640×480 640×360 480×270 320×240 320×180
	IPD-SP250 IPD-BL250 IPD-VR250 IPD-BX250	admin	admin123	UDP ユニキャスト UDP マルチキャスト RTP over RTSP	Main Stream Sub Stream	1920×1080 1280×720 720×576 640×360 352×288
					3rd Stream	720×576 640×360 352×288
	IPD-PT250	admin	admin123	UDP ユニキャスト UDP マルチキャスト RTP over RTSP	Main Stream	1920×1080 1280×720 720×576 640×360 352×288
					Sub Stream	1280×720 704×576 640×360 352×288
3rd Stream					704×576 640×360 352×288	

記録スケジュール設定画面では、記録スケジュールの詳細な設定が行えます。この画面の表示方法は、「図 3.3-1 NVRカメラ情報登録画面」で、記録スケジュールの時間帯表示の部分でダブルクリックすることにより表示できます。

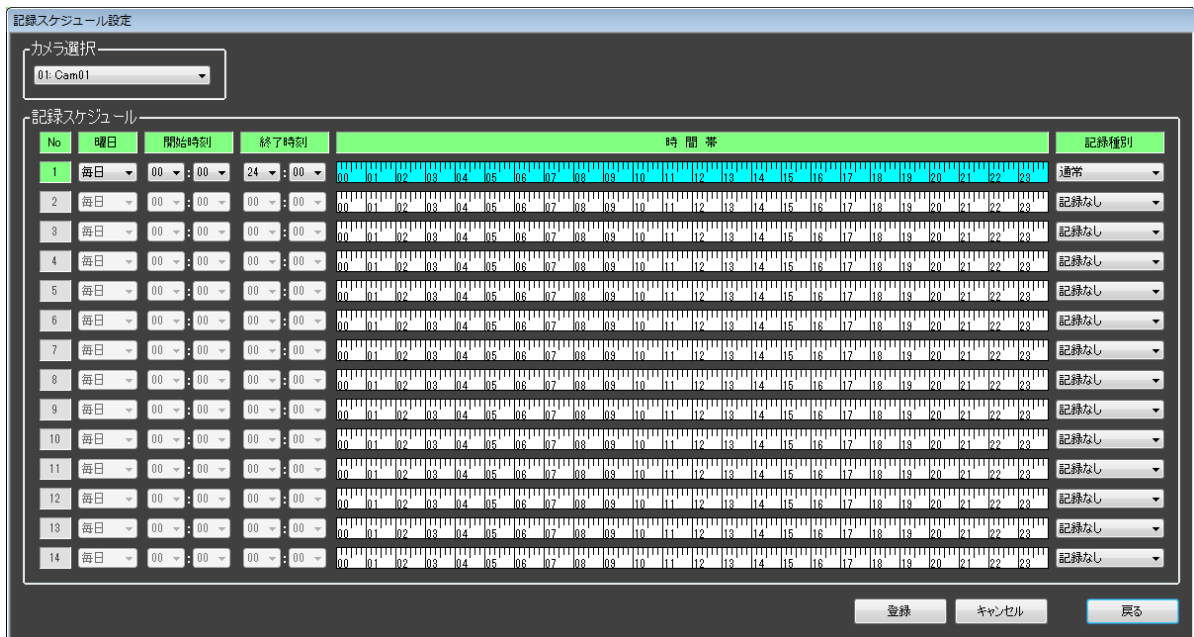


図 3.3-2 記録スケジュール設定画面

ボタン／選択／入力等	説明
	記録スケジュールを設定するカメラを選択します。
	記録スケジュールの詳細な時間帯を管理する通し番号です。一つ管理番号に対して一つの時間帯が設定できます。複数の時間帯を設定する場合は、管理番号を分けて設定してください。
	記録する曜日を選択します。 「毎日」「月曜日」～「日曜日」より選択できます。
	記録を開始する時刻を選択します。この値を変更すると右側の「時間帯」表示も変わります。
	記録を終了する時刻を選択します。この値を変更すると右側の「時間帯」表示も変わります。
	記録する時間帯を水色で表示します。 また、この時間帯表示領域内でドラッグするとそのドラッグした範囲が記録時間帯となり、左側の「開始時刻」「終了時刻」も更新されます。
	記録種別を選択します。 「記録なし」「通常」「アラーム」「通常&アラーム」より選択します。 記録時間帯を追加する場合は、始めにこの記録種別を「記録なし」以外を選択してから行ってください。
	記録スケジュール情報を変更した場合、その値を登録します。
	記録スケジュール情報を変更した場合、その値をキャンセルし、元の値に戻します。
	NVRカメラ情報登録画面(図 3.3-1)に戻ります。

3.4 RTSPサーバ登録

本機能では、「3.2 システムNVR登録」で登録したNVR(INR-3000/3500)において、NVRより映像配信する場合の各種パラメータを登録します。

メンテナンスメニュー(図 3.1-1)より「RTSPサーバ登録」ボタンをクリックすることにより、下記画面が表示されます。

図 3.4-1 RTSPサーバ登録画面

ボタン/選択/入力等	説明
	RTSPサーバ情報を登録変更するNVRを選択します。「3.2 システムNVR登録」で登録したNVRが選択できます。
	外部からNVRにアクセスする際の認証方式を選択します。「認証なし」「ベーシック認証」「ダイジェスト認証」「互換モード」より選択できます。
	外部からNVRにアクセスする際の認証ログイン名を設定します。
	外部からNVRにアクセスする際の認証パスワードを設定します。
	UDPマルチキャスト配信する場合のマルチキャストIPv4アドレスを設定します。
	UDPマルチキャスト配信する場合のマルチキャストIPv6アドレスを設定します。
	RTSPのポート番号を設定します。
	HTTPのポート番号を設定します。
	RTPユニキャストで配信する場合のポート番号を設定します。
	RTPマルチキャストで配信する場合のポート番号を設定します。

マルチキャストTTL <input type="text" value="2"/>	マルチキャスト配信時のTTLを設定します。
RTSP MTU <input type="text" value="1500"/>	RTSPパケットのMTUを設定します。
<input type="button" value="登録"/>	各種パラメータを変更した場合、その値を登録します。
<input type="button" value="キャンセル"/>	各種パラメータを変更した場合、その値をキャンセルし、元の値に戻します。
<input type="button" value="戻る"/>	メンテナンスメニュー(図 3.1-1)に戻ります。

3.5 プリ/ポスト アラーム記録時間登録

本機能では、「3.2 システムNVR登録」で登録したNVR(INR-3000/3500)において、アラーム記録する場合のプリアラーム記録時間/ポストアラーム記録時間を登録します。アラーム記録を行う場合、アラーム発生時刻の前後の映像を記録することができます。プリアラーム記録時間は、アラーム発生前の映像を記録する時間で、ポストアラーム記録時間は、アラーム発生後の映像を記録する時間です。

メンテナンスメニュー(図 3.1-1)より「プリ/ポスト アラーム記録時間登録」ボタンをクリックすることにより、下記画面が表示されます。

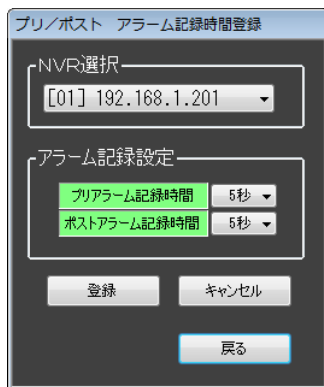


図 3.5-1 プリ/ポスト アラーム記録時間登録画面

ボタン/選択/入力等	説明
NVR選択 <input type="text" value="[01] 192.168.1.201"/>	プリ/ポストアラーム記録時間を登録変更するNVRを選択します。「3.2 システムNVR登録」で登録したNVRが選択できます。
プリアラーム記録時間 <input type="text" value="5秒"/>	プリアラーム記録時間を選択します。「0秒」～「15秒」より選択できます。
ポストアラーム記録時間 <input type="text" value="5秒"/>	ポストアラーム記録時間を選択します。「0秒」～「60秒」より選択できます。
<input type="button" value="登録"/>	プリアラーム記録時間またはポストアラーム記録時間を変更した場合、その値を登録します。
<input type="button" value="キャンセル"/>	プリアラーム記録時間またはポストアラーム記録時間を変更した場合、その値をキャンセルし、元の値に戻します。
<input type="button" value="戻る"/>	メンテナンスメニュー(図 3.1-1)に戻ります。

3.6 センサー入力関連設定

本機能では、センサー入力関連の諸設定を行います。まず、センサー動作のモードを決定し、次にセンサー入力装置のIPアドレスや入力数を設定します。最後にセンサー入力1点々々に対してカメラの動作を設定します。

メンテナンスメニュー(図 3.1-1)より「センサー入力関連設定」ボタンをクリックすることにより、下記画面(アラームモード設定画面)が表示されます。ここでは、センサー動作のモード設定とセンサー発報時のアラーム音の設定を行います。

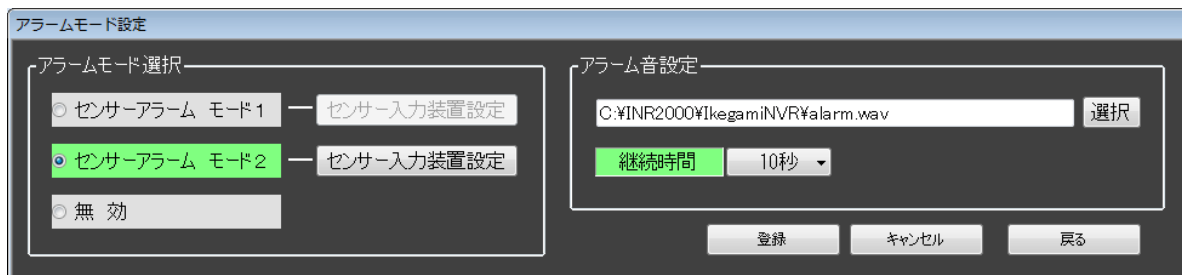


図 3.6-1 アラームモード設定画面

ボタン/選択/入力等	説明
<input type="radio"/> 無効	アラームモードを無効にします。
<input type="radio"/> センサーアラーム モード1	センサーアラームモード1は、センサー入力専用の装置を設置してその入力をカメラ側で持っている「動き検出」や「接点入力」をアラームとして扱うモードです。
<input checked="" type="radio"/> センサーアラーム モード2	センサーアラームモード2は、センサー入力専用の装置を設置してその入力をアラームとして扱うモードです。
センサー入力装置設定	「センサーアラームモード1」及び「センサーアラームモード2」選択時に有効となり、センサー入力専用の装置の設定を行う画面に移行します。 詳細は、「3.7 センサー入力装置設定」を参照願います。
C:\INR2000\Ikegami ~ 選択	センサー発報時に鳴動させるアラーム音(WAV ファイル)を指定します。
継続時間 10秒	センサー発報時に鳴動させるアラーム音の継続時間を指定します。 「0秒, 5秒, 10秒, 15秒, 20秒, 30秒, 1分, 2分, 3分, 4分, 5分, 連続」より選択します。 「0秒」選択時 → アラーム音なし。 「連続」選択時 → センサー発報画面で「確認」ボタンが押下されるまで連続的に鳴動。
登録	各種パラメータを変更した場合、その値を登録します。
キャンセル	各種パラメータを変更した場合、その値をキャンセルし、元の値に戻します。
戻る	メンテナンスメニュー(図 3.1-1)に戻ります。

3.7 センサー入力装置設定

本機能では、「センサーアラームモード1」及び「センサーアラームモード2」時のセンサー入力専用の装置の設定を行います。

アラームモード設定 (図 3.6-1) より「センサー入力装置設定」ボタンをクリックすることにより、下記画面が表示されます。ここでは、各センサー入力装置のIPアドレスや、入力接点数を設定します。

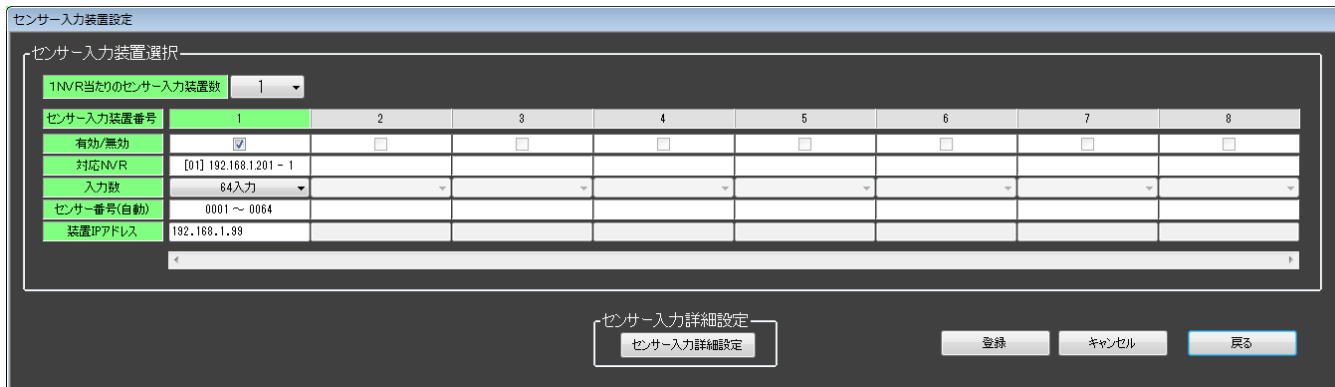


図 3.7-1 センサー入力装置設定画面

ボタン/選択/入力等	説明
1NVR当りのセンサー入力装置数 1	1つのNVRに対して何台のセンサー入力装置を設置するかを決めます。「1台~4台」から選択できます。
有効/無効 <input checked="" type="checkbox"/>	このセンサー入力装置の有効/無効を設定します。
対応NVR [01] 192.168.1.201 - 1	このセンサー入力装置が配置されるNVRが表示されます。
入力数 64入力	このセンサー入力装置の入力数を選択します。「16入力, 32入力, 64入力」から選択できます。
センサー番号(自動) 0001 ~ 0064	各センサー入力装置に割り振られたセンサー番号を表示します。センサー番号は画面左側の装置より入力数を考慮して自動的に割り振られます。 ※「センサーアラームモード1」の時は表示されません。
装置IPアドレス 192.168.1.99	このセンサー入力装置のIPアドレスを設定します。
スクロールバー	1画面中に最大8装置分の情報が表示できます。表示されていないセンサー入力装置情報を登録する場合は、このスクロールバーを使って任意のセンサー入力装置の登録情報を表示できます。スクロールを行った際に、見えなくなるセンサー入力装置に対して情報の変更がなされている場合は、一旦登録を促すメッセージが表示されます。
センサー入力詳細設定 センサー入力詳細設定	センサー入力1点々々に対してセンサー入力名称やカメラの動作を設定する画面に移行します。 詳細は、「3.8 センサー入力詳細設定」を参照願います。 ※「センサーアラームモード1」の時は表示されません。
登録	各種パラメータを変更した場合、その値を登録します。
キャンセル	各種パラメータを変更した場合、その値をキャンセルし、元の値に戻します。
戻る	アラームモード設定 (図 3.6-1)に戻ります。

3.8 センサー入力詳細設定

本機能では、「センサーアラームモード2」時のセンサー入力1点々々に対してカメラの動作を設定します。システム全体で登録できるセンサー入力数の最大値は1024入力となります。

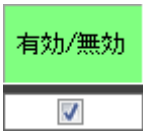

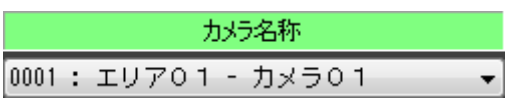
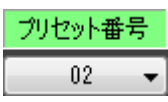

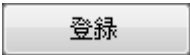


センサー入力装置設定（図3.7-1）より「センサー入力詳細設定」ボタンをクリックすることにより、下記画面が表示されます。

センサー入力詳細設定							
番号	センサー入力名称		有効/無効	アクティブレベル	連動カメラ		
	センサー入力装置	名称			カメラ名称	プリセット番号	
0001	[01] 192.168.1.99	01 センサー01	<input checked="" type="checkbox"/>	H	0001 : エリア01 - カメラ01	02	
0002	[01] 192.168.1.99	02 センサー02	<input checked="" type="checkbox"/>	H	0001 : エリア01 - カメラ01	03	
0003	[01] 192.168.1.99	03 センサー03	<input checked="" type="checkbox"/>	L	0001 : エリア01 - カメラ01	04	
0004	[01] 192.168.1.99	04 センサー04	<input checked="" type="checkbox"/>	L	0001 : エリア01 - カメラ01	05	
0005	[01] 192.168.1.99	05 センサー05	<input checked="" type="checkbox"/>	L	0001 : エリア01 - カメラ01	06	
0006	[01] 192.168.1.99	06 センサー06	<input checked="" type="checkbox"/>	L	0002 : エリア01 - カメラ02	02	
0007	[01] 192.168.1.99	07 センサー07	<input checked="" type="checkbox"/>	H	0002 : エリア01 - カメラ02	03	
0008	[01] 192.168.1.99	08 センサー08	<input checked="" type="checkbox"/>	H	0002 : エリア01 - カメラ02	04	
0009	[01] 192.168.1.99	09 センサー09	<input checked="" type="checkbox"/>	H	0002 : エリア01 - カメラ02	05	
0010	[01] 192.168.1.99	10 センサー10	<input checked="" type="checkbox"/>	H	0002 : エリア01 - カメラ02	06	
0011	[01] 192.168.1.99	11 センサー11	<input checked="" type="checkbox"/>	H	0003 : エリア01 - カメラ03	02	
0012	[01] 192.168.1.99	12 センサー12	<input checked="" type="checkbox"/>	H	0003 : エリア01 - カメラ03	03	
0013	[01] 192.168.1.99	13 センサー13	<input checked="" type="checkbox"/>	H	0003 : エリア01 - カメラ03	04	
0014	[01] 192.168.1.99	14 センサー14	<input checked="" type="checkbox"/>	H	0003 : エリア01 - カメラ03	05	
0015	[01] 192.168.1.99	15 センサー15	<input checked="" type="checkbox"/>	H	0003 : エリア01 - カメラ03	06	
0016	[01] 192.168.1.99	16 センサー16	<input checked="" type="checkbox"/>	H	0004 : エリア01 - カメラ04	02	
0017	[01] 192.168.1.99	17 センサー17	<input checked="" type="checkbox"/>	H	0004 : エリア01 - カメラ04	03	
0018	[01] 192.168.1.99	18 センサー18	<input checked="" type="checkbox"/>	H	0004 : エリア01 - カメラ04	04	
0019	[01] 192.168.1.99	19 センサー19	<input checked="" type="checkbox"/>	H	0004 : エリア01 - カメラ04	05	
0020	[01] 192.168.1.99	20 センサー20	<input checked="" type="checkbox"/>	H	0004 : エリア01 - カメラ04	06	
0021	[01] 192.168.1.99	21 センサー21	<input checked="" type="checkbox"/>	H	0006 : エリア02 - カメラ06	02	
0022	[01] 192.168.1.99	22 センサー22	<input checked="" type="checkbox"/>	H	0006 : エリア02 - カメラ06	03	
0023	[01] 192.168.1.99	23 センサー23	<input checked="" type="checkbox"/>	H	0006 : エリア02 - カメラ06	04	
0024	[01] 192.168.1.99	24 センサー24	<input checked="" type="checkbox"/>	H	0006 : エリア02 - カメラ06	05	
0025	[01] 192.168.1.99	25 センサー25	<input checked="" type="checkbox"/>	H	0006 : エリア02 - カメラ06	06	
0026	[01] 192.168.1.99	26 センサー26	<input checked="" type="checkbox"/>	H	0007 : エリア02 - カメラ07	02	
0027	[01] 192.168.1.99	27 センサー27	<input checked="" type="checkbox"/>	H	0007 : エリア02 - カメラ07	03	
0028	[01] 192.168.1.99	28 センサー28	<input checked="" type="checkbox"/>	H	0007 : エリア02 - カメラ07	04	
0029	[01] 192.168.1.99	29 センサー29	<input checked="" type="checkbox"/>	L	0007 : エリア02 - カメラ07	05	
0030	[01] 192.168.1.99	30 センサー30	<input checked="" type="checkbox"/>	L	0007 : エリア02 - カメラ07	06	
0031	[01] 192.168.1.99	31 センサー31	<input checked="" type="checkbox"/>	L	0001 : エリア01 - カメラ01	07	
0032	[01] 192.168.1.99	32 センサー32	<input checked="" type="checkbox"/>	L	0002 : エリア01 - カメラ02	07	

登録 キャンセル 戻る

図 3.8-1 センサー入力詳細設定画面

ボタン/選択/入力等	説明
<div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">番号</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">0001</div>	各センサーの通り番号を表示します。
<div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">センサー入力装置</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">[01] 192.168.1.99 01</div>	各センサー入力装置のIPアドレスとその装置内での通り番号を表示します。
<div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">名称</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">センサー01</div>	各センサーの名称を設定します。最大20文字まで入力可能です。

	<p>各センサーの有効/無効を設定します。</p>
	<p>各センサーの有効レベルを設定します。 「H」または「L」を選択します。</p>
	<p>センサー発報時に連動するカメラを選択します。<u>選択できるカメラは、該当するセンサー入力装置が配置されているNVRに登録されているカメラのみとなります。</u></p>
	<p>センサー発報時に連動するカメラのプリセット番号を選択します。選択できるプリセット番号は「1」～「16」です。</p>
	<p>1画面中に最大32センサー分の情報が表示できます。表示されていないセンサー情報を登録する場合は、このスクロールバーを使って任意のセンサーの登録情報を表示できます。 スクロールを行った際に、見えなくなるセンサーに対して情報の変更がなされている場合は、一旦登録を促すメッセージが表示されます。</p>
	<p>各種パラメータを変更した場合、その値を登録します。</p>
	<p>各種パラメータを変更した場合、その値をキャンセルし、元の値に戻します。</p>
	<p>センサー入力装置設定 (図 3.7-1)に戻ります。</p>

3. 9 自動バックアップ設定

本機能では、「3.2 システムNVR登録」で登録したNVR(INR-3000/3500)において、自動バックアップの各種設定を行います。自動バックアップとは、毎日指定した時刻に前日のアラーム記録データを指定ディレクトリにAVIファイル形式でバックアップを行う機能です。

メンテナンスメニュー(図 3.1-1)より「自動バックアップ設定」ボタンをクリックすることにより、下記画面が表示されます。

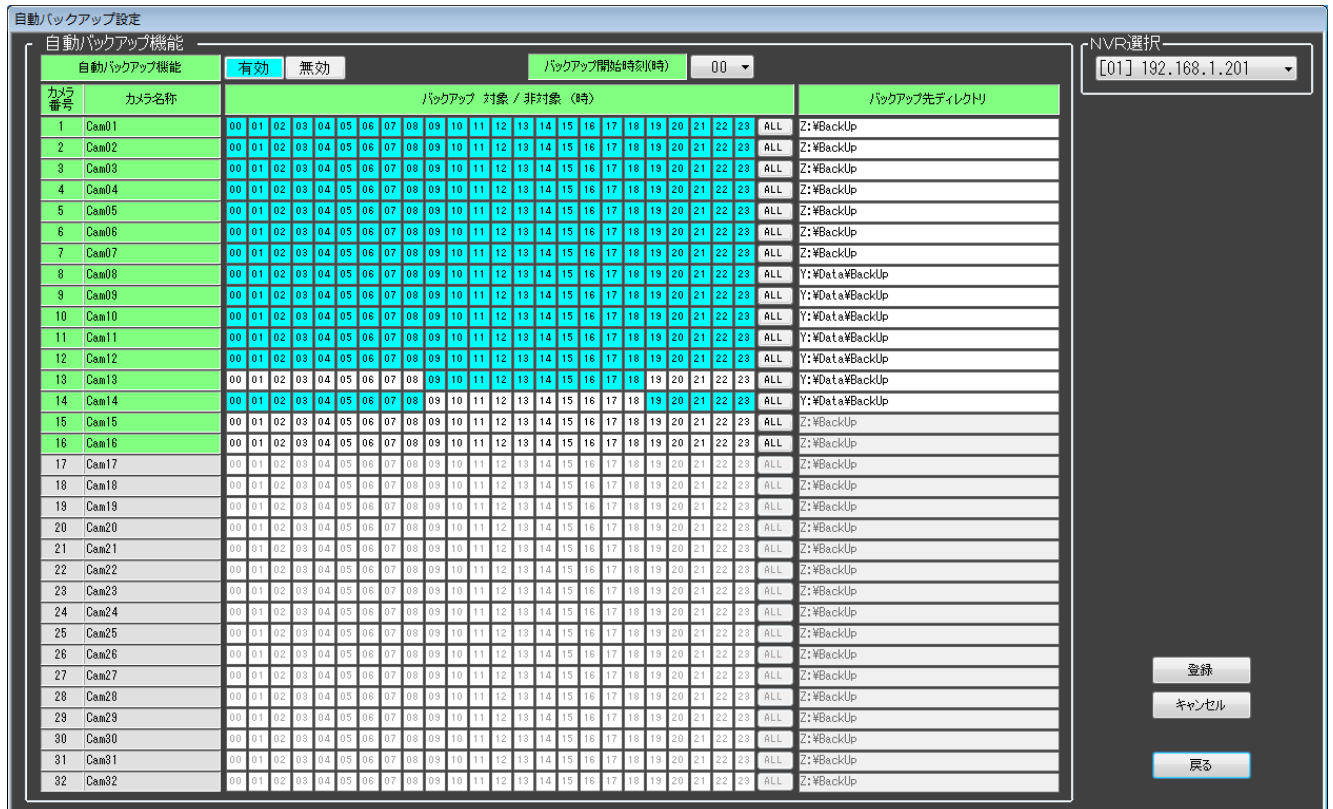


図 3.9-1 自動バックアップ設定画面

ボタン/選択/入力等	説明
	自動バックアップ機能を設定変更するNVRを選択します。「3.2 システムNVR登録」で登録したNVRが選択できます。
	自動バックアップ機能の有効/無効を設定します。現在設定されているボタンの背景色を水色で表示します。
	自動バックアップを開始する時刻(時のみ)を設定します。毎日この時刻になると前日のアラーム記録データのバックアップを開始します。「00」時～「23」時より選択できます。
	各カメラのカメラ番号とカメラ名称を表示します。

	<p>各カメラ単位での自動バックアップの対象／非対象時刻を設定します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ [01]～[23]:対象／非対象時刻の選択をします。クリックするたびに対象／非対象が交互に変わり、対象時は水色で表示します。 ・ [ALL] :クリックするたびに全時刻の対象／非対象が交互に変わります。
	<p>各カメラ単位でのバックアップデータの保存先ディレクトリパスを設定します。最大 40 文字まで入力できます。 実際のバックアップ先ディレクトリパスはこのあとに"¥CameraXX"が付きます。(XXはカメラ番号)</p>
	<p>設定情報を変更した場合、その値を登録します。</p>
	<p>設定情報を変更した場合、その値をキャンセルし、元の値に戻します。</p>
	<p>メンテナンスメニュー(図 3. 1-1)に戻ります。</p>

※アラームが大量に発生する場合、HDD ディスク容量の枯渇や、バックアップ負荷が大きくなり、記録に影響が発生する可能性があります。システムを検討する際に、1日あたりのアラーム記録件数が、300件以下。アラームデータが、300Mバイト以下である環境のみご使用いただけます。

3.10 データ初期化

本機能では、「3.2 システムNVR登録」で登録したNVR(INR-3000/3500)において、各種データ(ログデータ、設定データ、記録データ)の初期化を行います。

メンテナンスメニュー(図 3.1-1)より「データ初期化」ボタンをクリックすることにより、下記画面が表示されます。

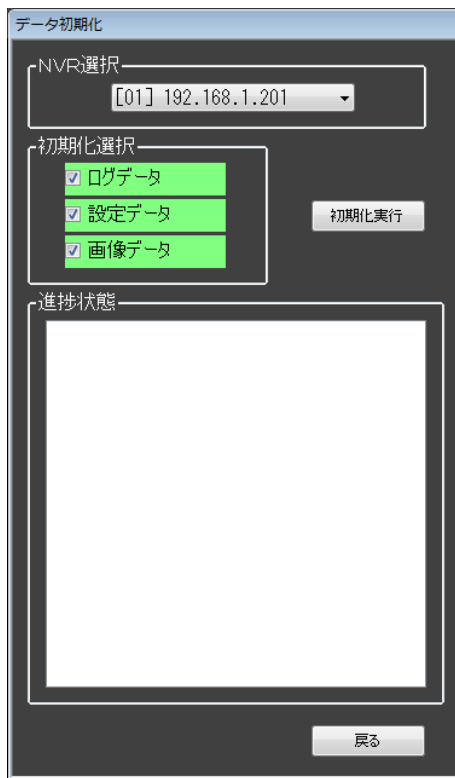


図 3.10-1 データ初期化画面

ボタン/選択/入力等	説明
	データ初期化をするNVRを選択します。「3.2 システムNVR登録」で登録したNVRが選択できます。
<input checked="" type="checkbox"/> ログデータ	ログデータ初期化実行の有/無を選択します。
<input checked="" type="checkbox"/> 設定データ	設定データ初期化実行の有/無を選択します。
<input checked="" type="checkbox"/> 画像データ	記録データ初期化実行の有/無を選択します。
<input type="button" value="初期化実行"/>	初期化実行を開始し、データ種別ごとに連続的に実行します。
	データ種別ごとに連続的に実行される各ステップの処理状況を表示します。
<input type="button" value="戻る"/>	メンテナンスメニュー(図 3.1-1)に戻ります。

3. 11 NVR 再起動/シャットダウン

本機能では、「3.2 システムNVR登録」で登録したNVR(INR-3000/3500)に対して、再起動コマンドまたはシャットダウンコマンドを送信します。

メンテナンスメニュー(図 3.1-1)より「NVR 再起動/シャットダウン」ボタンをクリックすることにより、下記画面が表示されます。

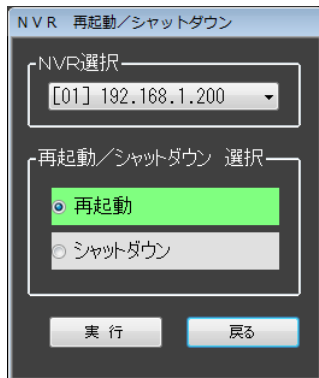


図 3.12-1 NVR 再起動/シャットダウン画面

ボタン/選択/入力等	説明
	再起動またはシャットダウンするNVRを選択します。「3.2 システムNVR登録」で登録したNVRが選択できます。
<input checked="" type="radio"/> 再起動	指定したNVRを再起動する場合に選択します。
<input type="radio"/> シャットダウン	指定したNVRをシャットダウンする場合に選択します。
	指定したNVRに対してコマンドを送ります。
	メンテナンスメニュー(図 3.1-1)に戻ります。

3. 1 2 エリア情報登録

本機能では、表示するカメラを分類するためのエリア情報を登録します。
 メンテナンスメニュー(図 3. 1-1)より「エリア情報登録」ボタンをクリックすることにより、下記画面が表示されます。

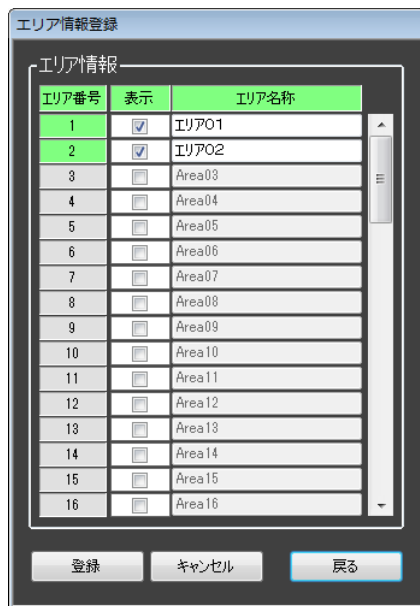


図 3. 15-1 エリア情報登録画面

ボタン/選択/入力等	説明
	エリア情報の表示/設定を行います。 「エリア番号」列： エリア情報を管理するための通し番号です。 「表示」列： エリア情報の表示(有効)/非表示(無効)を選択します。 「エリア名称」列： エリア情報を表示(有効)する場合の名称を入力します。最大 32 文字まで入力可能です。
	エリア情報を変更した場合、その値の登録を行います。
	エリア情報を変更した場合、その値をキャンセルし、元の値に戻します。
	メンテナンスメニュー(図 3. 1-1)に戻ります。

3. 13 Viewカメラ情報登録

本機能では、表示するカメラの詳細な情報を登録します。

メンテナンスメニュー(図 3.1-1)より「Viewカメラ情報登録」ボタンをクリックすることにより、下記画面が表示されます。

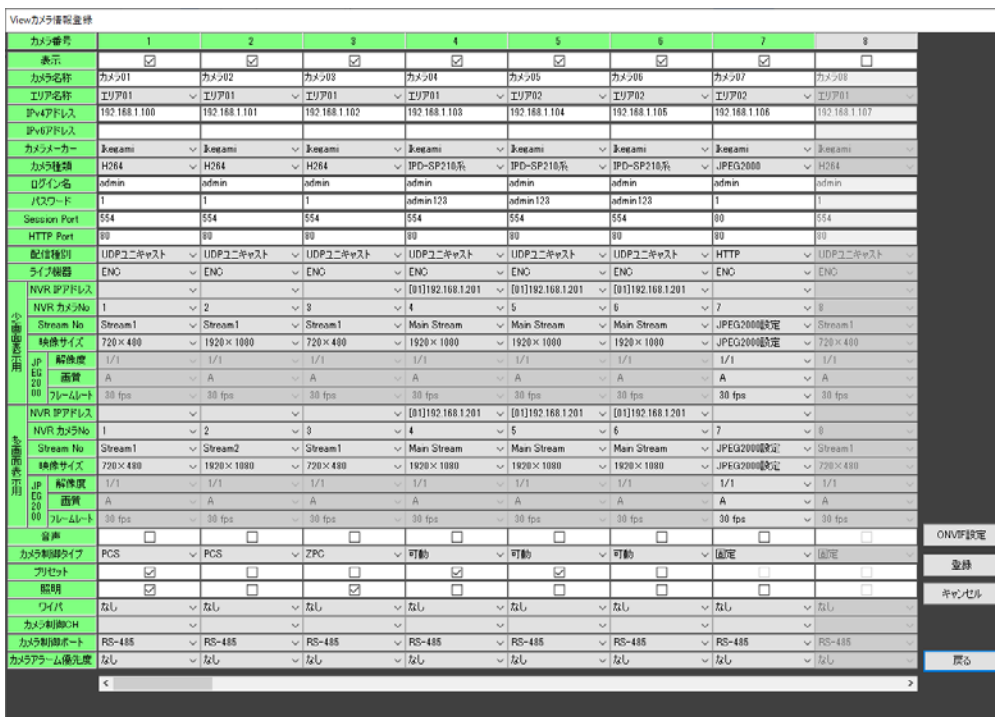

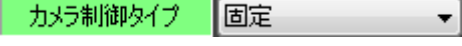





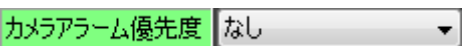

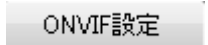
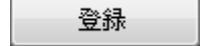




図 3.16-1 カメラ情報登録画面

ボタン/選択/入力等	説明
表示 <input checked="" type="checkbox"/>	カメラの有効/無効を設定します。
カメラ名称 <input type="text" value="カメラ01"/>	カメラ名称を設定します。最大 32 文字まで入力可能です。
エリア名称 <input type="text" value="エリア01"/>	カメラが所属するエリア名称を選択します。選択リストに表示されるのは、「3.15 エリア情報登録」画面で表示を有効に設定したエリア名称のみです。
IPv4アドレス <input type="text" value="192.168.1.100"/>	IPv4 アドレスを設定します。
IPv6アドレス <input type="text"/>	IPv6 アドレスを設定します。
カメラメーカー <input type="text" value="Ikegami"/>	カメラメーカーを選択します。
カメラ種類 <input type="text" value="H264"/>	該当するカメラの種類を選択します 「表 3.3-1 カメラ種類別初期値及び選択範囲」参照
ログイン名 <input type="text" value="admin"/>	カメラにログインする時のログイン名を設定します。 「表 3.3-1 カメラ種類別初期値及び選択範囲」参照
パスワード <input type="text" value="1"/>	カメラにログインする時のパスワードを設定します。 「表 3.3-1 カメラ種類別初期値及び選択範囲」参照
Session Port <input type="text" value="554"/>	セッションポート番号を設定します。 以下にデフォルトの値を示します。 ・「JPEG2000」以外 → 「554」 ・「JPEG2000」時 → 「80」

<p>HTTP Port</p> <p>80</p>	<p>HTTPポート番号を設定します。</p>
<p>配信種別</p> <p>UDPユニキャスト</p>	<p>配信種別を選択します。 「表 3.3-1 カメラ種類別初期値及び選択範囲」参照</p>
<p>ライブ機器</p> <p>ENC</p>	<p>Live映像ストリームの取得先を選択します。 「ENC」選択時 → Live映像ストリームをカメラ側より取得します。 「NVR」選択時 → Live映像ストリームをNVR側より取得します。</p>
<p>少画面表示用</p> <p>NVR IPアドレス</p> <p>[01]192.168.1.201</p>	<p>少画面表示用で該当カメラが登録されているNVR装置を選択します。 「3.2 システムNVR登録」で登録したNVRから選択できます。</p>
<p>少画面表示用</p> <p>NVR カメラNo</p> <p>1</p>	<p>少画面表示用で該当カメラが登録されているNVR装置内におけるカメラ番号を選択します。 「1」～「32」より選択できます。</p>
<p>少画面表示用</p> <p>Stream No</p> <p>Stream1</p>	<p>少画面表示用のストリーム番号を選択します。 「表 3.3-1 カメラ種類別初期値及び選択範囲」参照</p>
<p>少画面表示用</p> <p>映像サイズ</p> <p>640×480</p>	<p>少画面表示用の映像サイズを選択します。カメラ側の映像サイズに合わせます。 「表 3.3-1 カメラ種類別初期値及び選択範囲」参照</p>
<p>少画面表示用</p> <p>解像度</p> <p>1/1</p>	<p>少画面表示用のJPEG2000専用の解像度を設定します。 「1/1」より選択できます。</p>
<p>少画面表示用</p> <p>画質</p> <p>A</p>	<p>少画面表示用のJPEG2000専用の画質を設定します。 「A」～「E」より選択できます。</p>
<p>少画面表示用</p> <p>フレームレート</p> <p>30fps</p>	<p>少画面表示用のJPEG2000専用のフレームレートを設定します。 「30fps」「15fps」「10fps」「5fps」「3fps」「2fps」「1fps」より選択できます。</p>
<p>多画面表示用</p> <p>NVR IPアドレス</p> <p>[01]192.168.1.201</p>	<p>多画面表示用で該当カメラが登録されているNVR装置を選択します。 「3.2 システムNVR登録」で登録したNVRから選択できます。</p>
<p>多画面表示用</p> <p>NVR カメラNo</p> <p>1</p>	<p>多画面表示用で該当カメラが登録されているNVR装置内におけるカメラ番号を選択します。 「1」～「32」より選択できます。</p>
<p>多画面表示用</p> <p>Stream No</p> <p>Stream1</p>	<p>多画面表示用のストリーム番号を選択します。 「表 3.3-1 カメラ種類別初期値及び選択範囲」参照</p>
<p>多画面表示用</p> <p>映像サイズ</p> <p>640×480</p>	<p>多画面表示用の映像サイズを選択します。カメラ側の映像サイズに合わせます。 「表 3.3-1 カメラ種類別初期値及び選択範囲」参照</p>
<p>多画面表示用</p> <p>解像度</p> <p>1/1</p>	<p>多画面表示用のJPEG2000専用の解像度を設定します。 「1/1」「1/4」「1/8」より選択できます。</p>
<p>多画面表示用</p> <p>画質</p> <p>A</p>	<p>多画面表示用のJPEG2000専用の画質を設定します。 「A」～「E」より選択できます。</p>
<p>多画面表示用</p> <p>フレームレート</p> <p>30fps</p>	<p>多画面表示用のJPEG2000専用のフレームレートを設定します。 「30fps」「15fps」「10fps」「5fps」「3fps」「2fps」「1fps」</p>

	より選択できます。
	音声の有効/無効を選択します。
	カメラ制御タイプを選択します。 <ul style="list-style-type: none"> ・固定カメラ → 「固定」 ・雲台制御のみ (プリセット機能なし) → 「ZPC」 ・プリセット機能あり → 「PCS」 ・その他制御タイプ → 「可動」
	カメラのプリセット機能の有効/無効を選択します。
	カメラの照明装置の有効/無効を選択します。
	カメラのワイパ装置のタイプを選択します。 <ul style="list-style-type: none"> ・ワイパなし → 「なし」 ・カメラに標準で付いているワイパ → 「標準」 ・ドームカバーに付いているワイパ → 「ドーム」
	カメラのワイパ装置の有効/無効を選択します。
	カメラ制御を行う装置のチャンネル番号を選択します。 「1」～「99」より選択できます。
	カメラ制御を行うポートの種類を選択します。 「RS-485」「RS-232C」より選択できます。
	センサーアラームモード1において、カメラアラームが同時発報した時の優先度を選択します。 「なし」「低」「中」「高」より選択します。
	1画面中に最大9カメラ分の情報が表示できます。 表示されていないカメラ情報を登録する場合は、このスクロールバーを使って任意のカメラの登録情報を表示できます。 スクロールを行った際に、見えなくなるカメラに対して情報の変更がなされている場合は、一旦登録を促すメッセージが表示されます。
	「ONVIF 設定」ボタンは、カメラメーカーで「ONVIF」を選択したカメラのONVIF情報を取得する処理を行います。IPアドレスの情報と、ユーザー名、パスワードが正しく設定されていないと、ONVIF情報を取得できませんので、ご注意ください。
	各カメラの登録情報を変更した場合、その値を登録します。
	各カメラの登録情報を変更した場合、その値をキャンセルし、元の値に戻します。
	メンテナンスメニュー(図 3.1-1)に戻ります。